

# 令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和4年5月17日

学校法人ニューライフ学園

報告者 角和麻衣子

## 1. 本園の教育目標

- ① 豊かな自然環境の下、遊びを中心とした主体的な創造活動（体験）を通して、子どもが生涯にわたる幸福に向かうための基礎能力（コンピテンシー）を育む。
- ② 子どもを取り巻く環境としての、家庭・教員・地域住民（市民）たちが生涯にわたって、発達（進化）をとげて行くための機会を共創する。

上記2つの使命を果たすため、以下のカテゴリーからアプローチしています。

【3つのアプローチ】 1. 社会貢献 2. 教育の研究 3. 人を創る

### 1-2. 具体的な保育指針

- ① 多様な体験の中で子どもの主体性と創造性を育むこと
- ② 個を育成し、社会適応を促すことを目指す
  - ・科学的根拠のある教育支援
  - ・伝統ある探究活動（自由保育）
  - ・子どもに優しい環境・施設

## 2. 三ヵ年計画

2022年	<ol style="list-style-type: none"><li>① 新しい制度（令和5年度こども家庭庁発足）に即した園運営の方向づけ（1年目）</li><li>② 中長期的計画（新制度移行・国際バカロレア教員機構申請に関する調査・検討_2年目）</li><li>③ 目指す教員像（ポジティブ行動支援の涵養，キャリアアップの言語化_2年目）の提示</li><li>④ 子どもの主体性を育む保育スキルの言語化・指標化（8月論文再投稿予定_3年目）</li><li>⑤ 要配慮児を包摂する保育実践と対処方法データ（記録）の蓄積</li><li>⑥ 園内ペアレントトレーニング制度の確立（診断のある・なしに関わらず、子どもの強みを活かす見取り方を保護者と一緒に考えて行く「子どもの強みを活かす会（仮）」※科研費研究，作新学院大学</li><li>⑦ 2歳児・満3歳児保育の実践カリキュラムの構築（2年目）</li><li>⑧ 園内研修の確立 ※令和5年度に行政より条件が挙がるか</li></ol>
2023年	<ol style="list-style-type: none"><li>① 創立70周年記念祝賀会</li><li>② (①にあたり) 絵本の創作</li><li>③ 新しい制度（令和5年度こども家庭庁発足）に即した園運営（2年目）</li><li>④ 中長期的計画の検討と実施（3年目）</li><li>⑤ 会議の確立_PDCA（計画→実践→振り返り→実装）からOODA（観察→状況判断→意思決定→行動と改善）へ</li><li>⑥ 子どもの主体性を育む保育スキルの言語指標の活用/保育実践の可視化（言語・視覚データ（映像））</li><li>⑦ 要配慮児を包摂する保育実践と対処方法データ（記録_言語・視覚データ（映像））の蓄積・活用</li><li>⑧ 園内ペアレントトレーニング制度の確立 ※科研費研究，作新学院大学，2年目</li><li>⑨ 2歳児・満3歳児保育の実践カリキュラムの構築（3年目）</li><li>⑩ 園内研修の確立 ※令和5年度に行政より条件が挙がるか</li></ol>
2024年	<ol style="list-style-type: none"><li>① 新制度移行について/ 国際バカロレア教育機構申請について：2023年度の内容で継続</li><li>② 目指す教員像の言語化・涵養：2023年度の内容で継続</li><li>③ 保育の質の向上（クラス保育/要配慮児支援/保護者支援/各言語化・データ化）：継続</li></ol>

### 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育の質向上のための、園内研修及び会議の充実等	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護法について教員にとって役立つ法知識の園内研修（オンデマンド1回）</li> <li>・配慮の必要な子どもに関する研修（巡回）</li> <li>・行動分析学を使った要配慮児支援に関する園内研修（筑波大学石塚特任教授）</li> <li>・放課後預かり保育に関する園内会議の充実と研究（カリキュラム、保育、及び手順の言語化）</li> <li>・専門家による危機管理の研修</li> </ul>
2	2歳児・満3歳児保育の実践と研究	A	満3歳児保育を開設、1年目の実践を経験しデータ化し蓄積した。
3	新制度移行に関する調査・検討	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新制度移行に関する調査を行った</li> <li>・新制度移行と国際バカロレア教育申請に関する相談と協議を横浜市と行った</li> </ul>
4	学校評価（保護者・教職員）	公表	・保護者への学校評価アンケート調査を実施し、HP上で公開（数値および本報告書）した。

### 4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	4つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、①放課後預かり保育での子どもの生活の充実を図ることができた、②満3歳児保育の土台構築ができた、③学校評価（保護者及び教職員対象）を実施することで保育の質の向上へ具体的な対策の一步が取れた、④幼児教育界の激変と課題とをふまえ今後の園運営について検討を開始した

### 5. 2022年度に取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	保育現場で完成させた保育スキル項目について信頼性と効果を検証しエビデンスを得る	8月に論文再投稿予定
2	新制度移行に関する調査・検討	継続
3	国際バカロレア教育機構申請に関する調査・検討	継続
4	学校評価	継続

※6. 学校関係者評価委員会の評価：2022年6月理事会で行う予定

## 7. 保護者アンケートにおけるご質問への回答

	質問（概要）	回答者：角和麻衣子 ※5月19日現在回答できるもののみとなります、ご了承ください
1	特別教育研究費 5200円について	<p>※重要事項説明書参照</p> <p>おおよそ「人件費」でございます。</p> <p>当園は「私学助成制度」に則って教育活動を行っていますが、現在日本では「私学助成制度」の他に「新制度」がスタートしています。そのため、無償化給付金の他に、保護者様にご負担いただく納付金が、園によって異なる状況にあり、それに準じる教育活動の内容も多様化しています。</p> <p>当園は専任制（保育担任、預かり保育、学童、要配慮児支援）でお子様をお預かりさせていただいています。教員各人が教育時間・保育時間の他に、研修や教育研究に費やす時間を確保し、専門性をもって幼児教育に従事できるよう、人員配置を行っています。</p> <p>これらより、施設等利用給付金のみでは賄えない経費を「特別教育研究費」としてご納付いただいています。「教員の日々の研磨のための時間捻出にかかる人件費」とご理解ください。共同研究にかかる経費は文科省科研費等を利用していますので皆様にご負担いただくことはございません。毎年、公正な会計監査を経て5月末に決算を理事会で行っています。詳細なご質問等ございます場合は個別にご連絡下さい。</p>
2	オンラインによる園と保護者様との連絡について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン授業について、ご要望いただいております。コロナ禍においてこうした潮流は速度を増し、私たちも日々多くの情報を得てまいりました。そのなかから、当園の保育実践に適した方法を慎重に選択して参ります。</li> <li>・オンライン面談、オンライン説明会についても、適した方法を慎重に選択して参ります。</li> <li>・教員の ICT スキルの向上を図って参ります。</li> </ul>
3	けがをした時の説明について	<p>けがをした時の説明について、日頃より適切な時間帯に、できるだけ丁寧に、誤解のない内容で、お伝えすることを心がけています。私たちの説明不足により、保護者様にご心労をお掛けすることがあるかもしれませんが、そんな時は、どうかご容赦頂き、お声がけ頂けますと幸いです。</p>

上記以外にも多くのご意見・ご要望を頂きました。真摯に受け止め、教職員全員で検討して参ります。また、励ましのお言葉や、感謝のお気持ち等、ポジティブな内容のコメントも沢山頂きました。コロナ禍において私たちが子どもたちにできることは何か？を共通の目的とし、日々「最善の判断」を行うことをモットーに精進して参りました。こうして2022年度を迎えることができますのも、子どもたちの元気な笑顔を始め、保護者皆様からの強いお力添え・お心添えがあつてのことと感謝申し上げます。引き続きニューライフ幼稚園を何卒宜しくお願い申し上げます。（ご意見・ご質問\_045-402-8539（角和麻衣子直通））